



子供環境学習 環境について 学ぶための取り組み

現在のことだけではなく未来のことも考え、未来の子供達そして地球の生き物のために、美しい自然を残していくこと。それが持続可能な環境学習の目的です。ユニーでは次世代を担う子供達を中心に、お客様・従業員に持続可能な社会を構築していくための環境学習を実施しています。また、自社だけではなく地元NPO、企業、行政機関とのコラボレーションによる環境活動を推進しています。



エコロお店探検隊

ユニーでは、2002年より小学校4年生から6年生を対象に「エコロお店探検隊」を開催しています。次世代を担う子供たちが大人になった時に、CO₂が削減されて低炭素社会が実現されるために、「自分はどんなライフスタイルを選べばよいのか」を判断ができる大人になってもらうことが環境学習の目的です。

この環境学習の内容は、低炭素社会構築の重要な要素になる「環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）」育成のためのプログラムや、ユニーが店舗で実施している環境活動の見学、廃物利用等のリサイクル工作などです。子供達の好奇心を大切に、楽しみながら環境問題に興味を持ってもらい、毎日の生活の中で「私にできること」から実践していってほしいと考えています。

「エコロお店探検隊」環境学習の内容

店舗管理職・地元NPO・一般の方たち・本社スタッフがインタープリター（案内役）になって、実施しています。

ゴミの行方

● 廃棄物庫

店舗から排出されるごみを「混ぜたらごみ、分ければ再生資源」と、分別・計量・保管している状況を見学し、リサイクルの仕組みを学習します。



● リサイクルステーション

家庭から排出されるごみ（容器包装）を店頭回収している所を見学し、使用済み容器包装をリサイクルすればゴミではなく再生資源になることを学習します。



環境にやさしいお買い物

● 「省エネ省資源」「再生利用」「環境を汚さない」などの環境配慮商品売り場から探したり、レジ袋を使わないお買物を体験します。

● 地産地消、フードマイレージなどを調べます。



私達にできること

● 毎日の生活の中で「地球環境のために自分ができる」を考えて、実行を宣言します。



農業体験

私達の毎日の食卓に並ぶ食物は、どのように作られているのか。ユニーが推進している食品リサイクルループの仕組みを見学したり、田植えや収穫体験を通して「たくさんの生物と一緒に生きていること（生物多様性）」や「食べ物を大切にすること」を学びました。

JAあいち海部での農業体験

ユニーと一緒に食品リサイクルループの農業を実践しているJAあいち海部で、食品残さでつくった堆肥を使って栽培した作物の農業体験をしました。



(有)三功の循環型農業の見学

ユニーの店舗から排出される食品残さを使って堆肥を作り、それを使った栽培の仕組みを見学しました。生ゴミでどうやって堆肥をつくるのか。堆肥の製造過程で発熱することや、発酵するときの臭い、完熟堆肥の手触りなどを実際に体験した後、できた作物の収穫をしました。

